

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

'17-'19-'21RH1(TCF9768W/WP/CR/CB系)

'17-'19-'21RH2W(TCF9878W系)用

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特殊品に切り替えることができます。

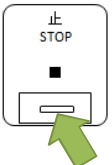
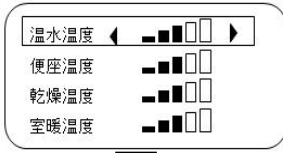
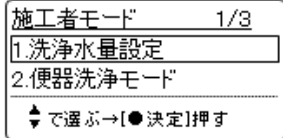


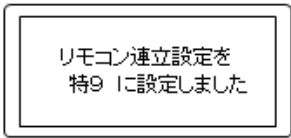
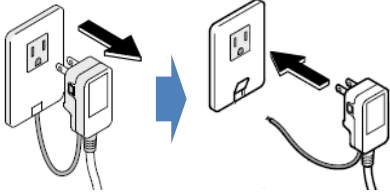

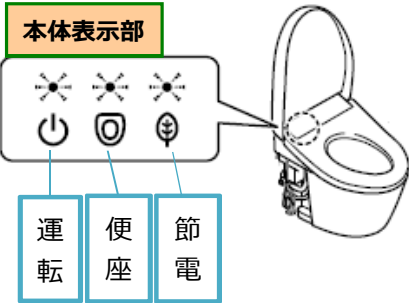

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

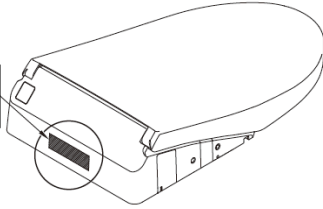
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ 特 1 イ プ) 1	(タ 特 2 イ プ) 2	正 規 品	(タ 特 1 イ プ) 1	(タ 特 2 イ プ) 2
(タ 特 3 イ プ) 3	(タ 特 4 イ プ) 4	(タ 特 5 イ プ) 5	(タ 特 3 イ プ) 3	(タ 特 4 イ プ) 4	(タ 特 5 イ プ) 5

<<設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法																																													
1	<p>「リモコン表側」</p>  <p>「リモコン裏側：液晶部」</p>  <p>↓</p> 	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②リモコン表側の「止」スイッチを約10秒押し、裏側の液晶画面が「施工者モード」に切り替わります。</p>																																												
2	<p>「リモコン裏側：液晶部」</p>  <p>↓</p>  <p>↓</p> 	<p>①【施工者モード】の【3.リモコン連立設定】へ液晶画面横の▼ボタンでカーソルを合わせる。</p> <p>②【3.リモコン連立設定】の横に 標準 から画面横の▶ボタンで<特1・特2…特14>と表示が切替わるので設定したい状態の所に合わせる。(例：特9)</p> <p>③液晶画面横の●ボタンを押すと【リモコン連立設定を特9に設定しました】と表示されると設定完了。</p> <p>④液晶画面横の■メニュー/戻るボタンを押して最初の画面に戻る。</p> <p><<ご注意>></p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>特殊設定は標準～特9まで設定を行ってください。 リモコン側は標準～特14までの設定が可能です。 本体側は特9までしか受け付けません。</p> </div>																																												
3		<p>ウォシュレット本体の電源プラグを抜き、再度差し込む。 (イニシャル動作をする。)</p> <p>◆設定中の製品以外は電源を投入しないこと。</p>																																												
4	 <p>↓</p> 	<p>ウォシュレット本体のイニシャル動作後 (電源が「入」になってから2分以内に)、</p> <p>リモコンの  ボタンを「10秒以内に5回」押し。</p> <p>↓</p> <p>ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅する。</p> <p>本体ランプ表示一覧</p> <table border="1" data-bbox="619 1816 1378 2002"> <thead> <tr> <th>設定コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>節電</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </tbody> </table>	設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●	便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×	節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲
設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																				
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●																																				
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×																																				
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲																																				

手順	リモコン特殊コード切り替え方法
5	<div data-bbox="268 174 440 232" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">コードラベル</div>  <p data-bbox="847 181 1294 241">ウォッシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>

◆切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

《参考》

■下記の操作で現在の連立設定状態を確認することができます。

- ①リモコン表側の『止』ボタンを10秒間押す。
- ②リモコン裏側の『◆』ボタンで「本体 連立設定確認」を選び『●決定』ボタンを押す。
- ③ウォッシュレット本体ランプ5秒間点滅（『手順4』の表に従って点滅します。）